

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部文化学科
学年(出発時)	2年生
大学名	国立高雄師範大学
国	台湾
留学期間	1年間(2019年2月15日～2020年2月14日)
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	起床
10:00	自習もしくは言語交換
11:00	自習もしくは言語交換
12:00	昼食
13:00	授業
14:00	授業
15:00	授業
16:00	授業
17:00	夕食
18:00	
19:00	友人と過ごす
20:00	友人と過ごす
21:00	帰宅
22:00	課題や自習
23:00	課題や自習
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
日本語(一)	2	2	中国語と日本語	ひらがなとカタカナ、かんたんな文法を教科書をもとに学ぶ。
視聴華語	15		中国語	レポート、パワポでのプレゼン、試験有り

大学のサポート	
チューターの有無	有り
チューターのサポート内容	空港へのピックアップ、ビザなどの手続きへの付添い、学校周辺の案内など
語学コースの有無	有り
コース名、料金、期間等	語言中心、無料、一年間(月曜～金曜、毎日3時間)

生活	
住居のタイプ	女子寮6人部屋
住居の名前	涵泳樓
部屋タイプ	6人部屋二段ベッド
ルームメイト(国籍)	日本
室内設備	個人用の机、椅子、本棚、クローゼット、冷房、冷蔵庫、Wi-Fi
共用施設	テレビ、電子レンジ、風呂、トイレ、給水器
インターネット設備	有り
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	学内に学生寮があるため、徒歩で移動可能
アルバイトの有無	有り
アルバイトの内容	夜市で日本人観光客に対する中国語の翻訳

渡航	
Visaの種類	居留ビザ
Visa申請先	台北駐大阪経済文化弁事処
Visa取得にかかった日数	1日
Visa取得にかかった費用	6900円(Visa手数料)+約10000円(名古屋-大阪の交通費)(往復)
Visa取得方法、提出書類等	大阪にある台北駐大阪経済文化弁事処へ行き、居留Visaを取得。提出書類はパスポートとその写し(1通)、申請書1通、写真2枚、留学先の学校の入学許可書原本とその写し(1通)、健康診断書1通、三重大学の在学証明書。
留学先大学の最寄り空港までの経路	高雄師範大学→徒歩10分→大学最寄りのMRT駅(文化中心)→美麗島駅で乗り換え→MRT高雄国際空港駅(空港直通)→高雄国際空港
渡航費用	約15000円
ピックアップサービスの有無	有り

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有り(1年)
有る場合、その理由	留学中は単位が取得できないため
就職活動開始時期	未定
帰国後の進路	未定

留学にかかった費用	
現地通貨=日本円(約)	1NTD=3.5円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	約10万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	教科書代(1冊約900NTD×4=3600NTD)=約13000円
宿舍費(月額)	1500~2000NTD(約6000円前後)
光熱費(月額)	なし
食費(月額)	40000円
その他	旅行・お土産代・娯楽費・交通費
留学期間中にかかった費用の合計	約70万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

台湾に到着した直後は、中国語を全く話すことができず、台湾人学生との意思疎通にとっても苦しみました。言葉が通じないことは生活していく上で、本当に大きな障害であり、店に行き、ものを買うこと料理を注文することすらできず、相手が言っていることも理解できないため、外に出ることすら怖くなってしまいました。しかし、バディ(チューター)を始めとした台湾人学生が親身にサポートしてくれたため、徐々に言葉が通じない戸惑いを「早く中国語を話せるようになりたい」というモチベーションへと変えることができました。

私は主に大学内にある語学学校に通っていました。語学学校は1学期3ヶ月制で、授業は平日毎日3時間ありました。クラスは中国語能力別に9クラスあり、私は初級(一)クラスから始めました。初級(一)は基礎クラスであり、漢字の書き取り練習や発音練習、簡単な文法を学びました。私は発音やリスニングが全くできなかったため、全体を授業は決して簡単なものではなかったです。授業では先生が教科書の内容以外に、生活していく上で必要な単語や文章も教えてくれるため、春学期が終わる5月頃には一人で簡単な買い物や料理の注文ができるようになりました。私は早く上級クラスに上がりたかったため、夏学期はスキップテストを受け、中級(一)クラスで学びました。中級クラスでは、話すこと、聞くことが重視され、よく討論や発表の課題が出されました。また毎週リスニングテストが行われました。初級クラスよりも難易度はとても高くなったが、私は夏学期を通して中国語を聞き取る能力を高めることができ、台湾人とも会話ができるようになりました。秋学期には再びスキップテストを受け、中高級(一)クラスで学びました。中高級クラスでは、毎日のようにクラスメートとの討論の時間があり、より実践的に中国語を使えるような練習しました。また口語だけでなく、文語も学ぶようになり、1課ごとに課題として1000字程度の作文を書きました。中間テスト、期末テストの際には、パワーポイントを用いたプレゼンテーションを行いました。冬学期では中高級(二)クラスで学びました。中高級(二)クラスでは、中高級(一)クラスよりもより高度な話題を扱い、討論やレポート、プレゼンテーションなどを行いました。例えば、中間テストでは自国の女性差別問題について、3000字程度のレポートとプレゼンテーションを行いました。冬学期が終わる頃には、社会問題などの少し複雑なテーマについて、中国語を用いて自分の意見を発表し、相手の質問を受けそれに返答することができるようになりました。

私は留学に行く前、漠然と思い描いていた目的は中国語能力を高めることのみでした。実際に留学を終えた今振り返ってみると、この一年間の交換留学を通して、私は中国語能力を高めることができただけでなく、台湾の人々やそのほかの国の人々との交流を通じて、自分の視野を広げることができたと実感しています。特に語学学校では、欧米諸国の学生や東南アジアの学生などと討論することで、日本とは違う国の社会のあり方や考え方、価値観などを学ぶことができました。様々な社会のあり方や考え方をすることは、世界に興味をもつ、世界に視野を広げる大きなきっかけとなり、また日本を改めて振り返るきっかけにもなりました。

さらに留学を通して、自分の性格や考え方も大きく変化したと感じています。留学に行く前までは、人見知りや人と交流することがとても苦手でした。しかし留学を通じて、言葉が通じない外国にいるときに、人見知りなどをしているひまはなく、恥やプライドを捨てて、積極的にたくさんの人に関わっていく重要性を知りました。また人と交流することは、自分とは違う考え方や価値観を知ることができるものであり、たくさんの学びを得ることができる素晴らしいものだというのを、身を持って実感しました。

私は今回の交換留学で本当に多くのものを得ることができました。語学力だけでなく、人としても大きく成長することができました。この一年間交換留学にいてよかったと心からそう思っています。今回交換留学する機会に巡り会えたことに感謝しています。(1743字)

今後留学する人へのアドバイス

台湾はいつも暖かく、そこで生活する人々も優しくどこかのんびりとしていて、とても過ごしやすいです。留学は準備も含めて大変なことがたくさんあります。未知な部分が多く、不安も大きいと思います。しかし、海外に行ってそこで生活することで初めて得られる知識や経験、そしてかけがえのない友人があります。留学中はつらいことももちろんありましたが、それを乗り越えることで大きく成長することができたと思います。留学に行く前は不安だらけでしたが、留学から帰ってきた今、私は留学に行くことができ本当に良かったと思っています。一年という時間は長いようであつという間に過ぎてしまいます。たくさんの人と積極的に関わって、充実した留学生活を送ってください。

報告書記入日

2020年2月24日